

教材・支援機器活用実践事例フォーマット

実践年度・タイトル		平成(29)年度 リーディングルーラーの授業中や家庭学習における活用
授業について	教科名等	<input checked="" type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他()
	単元・題材名	リーディングルーラーによる読みの支援
	授業の目標	リーディングルーラーを使って、読む速度を向上させ読み間違いを軽減させる。
	観点別学習状況の評価の観点	<input type="checkbox"/> 「知識・理解」 <input checked="" type="checkbox"/> 「技能」 <input type="checkbox"/> 「思考・判断・表現」 <input type="checkbox"/> 「関心・意欲・態度」 <input type="checkbox"/> その他()
学習集団と子供の実態	学校・学部・学年・人数	<input checked="" type="checkbox"/> 通常の学級 <input type="checkbox"/> 通級による指導 <input type="checkbox"/> 特別支援学級 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない (6)年 (1)人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input checked="" type="checkbox"/> LD(学習障害) <input type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他
	子供の課題(特性・ニーズ)	<input type="checkbox"/> 見る <input type="checkbox"/> 聞く <input type="checkbox"/> 話す <input checked="" type="checkbox"/> 読む <input checked="" type="checkbox"/> 書く <input type="checkbox"/> 計算する <input type="checkbox"/> 推論する <input type="checkbox"/> 運動と姿勢 <input type="checkbox"/> 日常生活活動 <input type="checkbox"/> 不注意 <input type="checkbox"/> 多動性・衝動性 <input type="checkbox"/> 社会性・コミュニケーション <input checked="" type="checkbox"/> 覚える・理解する <input type="checkbox"/> その他 読み書きにつまづきがあり、発達障害の診断が出ている。 教科書や配布プリントの見えにくさ、書くことの負担感から学習への拒否感や無気力さ、学習意欲の低下が見られた。 知能検査等の結果から、視覚認知・図地弁別等の認知機能が苦手であると診断・判断されている。また、背景色・文字色の調整が有効であり、ゴシック体・太めの文字が読みやすいとの結果が得られた。文字の大きさは12ポイント、行間は1.5行、文字間隔は広めの設定(教科書等を1.4倍程度に拡大した状態)が読みやすいことが明らかになった。
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称と画像	リーディングルーラー
	活用のねらい	Aコミュニケーション支援(<input type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(<input type="checkbox"/> B1情報入手支援 <input type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援) C学習支援(<input type="checkbox"/> C1教科学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援) 教科書等の文章において、適度に隠すことで必要な部分のみを目立たせることで読むことの負担感を軽減させる。
授業における支援	授業展開と画像	(1)支援機器の説明と練習(個別で1時間) ・市販のリーディングルーラーを用いて、対象児に合った色を選択する。 ・使用するリーディングルーラーを実際に使っている教科書等に使ってみる。 (2)対象児の使用感を聞き取り、リーディングルーラーの形やサイズを調整する。(個別で2回) 「大きすぎると使い勝手が悪い。手のひらサイズや、筆箱に入るくらいがいい」「あまり、他の児童に使用しているところを見られたくない」 →市販のものではなく、児童の要望にあったサイズや見た目のものを作成する。  (3)対象児が在籍するクラス全体でリーディングルーラーを体験してみる。(全体で1回) ・リーディングルーラーを何枚か用意し、対象児が在籍するクラスで紹介をし、実際に使ってみるという活動を行う。
効果・評価	子供の様子や変容および授業の評価	・リーディングルーラーを利用することで教科書が読みやすくなることに驚いた様子があった。 ・他の児童と異なった特別な道具を使うことに抵抗を感じているようであったが、クラスでリーディングルーラーの体験を実施した後は、特別なものではなく、自分にとって読みやすくなるものといった認識へと変化していたようである。 ・リーディングルーラーは座っている状態での使用を前提に考えられていたため、使用場面に制限ができていた点で改良が必要である。